

両丹日日新聞に「88ヶ所石仏巡り」について取材を受けました。本年11月に「石仏巡り」を実施すべく準備を進めています。(両丹日日新聞記事を掲載しています)

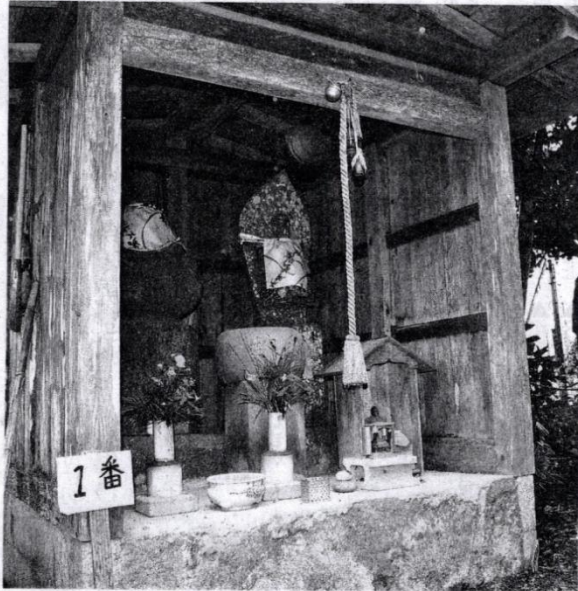
石仏巡り再興へ取り組む

夜久野高原の 住民組織 コース補修やガイド養成

福知山市と兵庫県朝来市に広がる夜久野高原の「夜久野高原八十八ヶ所石仏巡り」の再興に向け、地元の住民組織が取り組みを進めている。「コースの補修やガイド養成などを本格的に進め、新型コ

コースの補修やガイド養成... 湯茶の接待をしたと伝わる府県境付近の夜久野茶堂が起点で、一巡すれば四国の霊場巡りと同じ功徳を得られるといわれる。かつては京阪神から団体が観光バスで訪れた

る時期もあった。今でも遠方から訪れる人はいるが、PRに力を入れておらず、そう多くはない。しかし、高原には、府内唯一の火山・宝山や桜の名所の京都府緑化センター、夜久野茶堂の石仏像群、やくの玄武岩公園など観光資源が点在しており、江戸時代が起源と伝わる石仏巡りを通して高原の観光推進に弾みをつけてほしいと、一昨年6月



夜久野茶堂境内にある1番の石仏



新調した幟と福本さん、森山さん、波多野さん(左から)

【お知らせ】

9月初旬に予定していました秋季護持会総会は「緊急事態宣言」発出のため中止としました。尚、かつての秋の大師祭の日(9月21日)にちなんで、護持会世話人と(22地区)と関係者による88ヶ所石仏巡り参道の草刈り、放光院(大師堂)内と境内の清掃の後、三仏(弘法大師座像・観音立像・不道尊像)

をお祀りして、大師供養(般若心経)を午前中に行います。かつて盛況だった秋のお大師さんは護持会役員だけの参加となっていますが、由緒ある行事の継続に努めています。

下用台本や配布資料の作成も始めている。コースの維持、管理をする放光院護持会の福本辰志さん(69)、波多野寛則さん(71)と森山会長(74)は「石仏巡りの日にたくさんの方に巡礼してほしい」と話している。

い。コース沿いはエドヒガン、ヤエベニシタレなどの桜、紅葉が染しめ、雲海も見られて写真スポットにもなっている。石仏巡りを軸にして、高原の魅力を多くの人たちに伝えた